

緑の相談所だより

— 第 7 3 号 —

2001. 12. 1 発行

編集：財団法人旭川市公園緑地協会旭川市緑の相談所

お正月リース作り

日 期 12月14日(金) 午前10時～12時

定員いずれも30名

12月15日(土) 午前10時～12時



講 師 野の花り沙 古川りさ子さん

材 料 費 1,300円 (当日ご持参ねがいます。)

持 ち 物 はさみ、古タオル、作品お持ち帰り用袋、エプロン。

お申し込み・お問い合わせは旭川市緑の相談所 ☎65-5553へ

お正月を飾る 縁起植物

ウラジロ (*Gleichenia japonica*)

花ことば… 無限に



葉裏に胞子が無数につき、大きく左右に広がった葉には小葉がたくさん並んでつきます。

子孫繁栄を願ったのでしょう。

ユズリハ (*Daphniphyllum*

macropodum)

花ことば… 若返り



新しい葉が伸びだすと古い葉は一斉に落ちるということから、新春になると新しい姿に入れ替わることを現わしているのでしょう。

センリョウ (*Chloranthus glaber*)

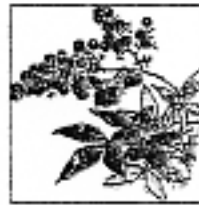
花ことば… 富貴



名前がめでたいということから、正月には欠かせない飾物、生花用材料です。

ナンテン (*Nandina domestica*)

花ことば… 私の愛は
増すばかり



「難を転じる」に通じ、円満成就の木として厄除けの縁起木とされています。

実は咳止めの妙薬、葉は強壮に用いられています。

ちなみに万 両 (*Ardisia crenata*)

百 両 カラタチバナ (*Ardisia crispa*)

十 両 ヤブコウジ (*Ardisia japonica*) もあります。

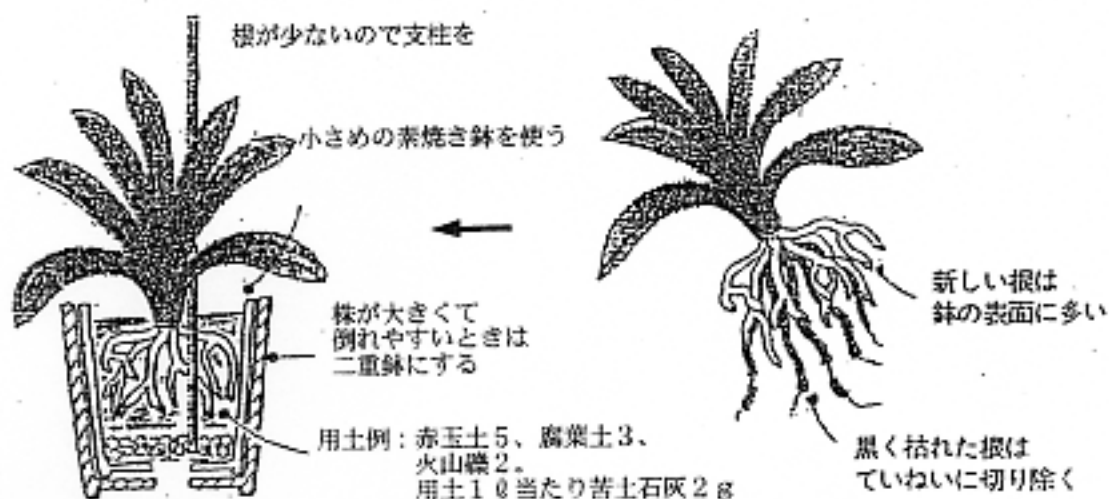
君子蘭の年間栽培歴 (旭川)

月	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
生育	生育					開花			生		育	
生育状態	体					眠			花芽分化			
作業	低温処理					交配			植え替え 株分け			
採種(種)	採種(種)					種蒔き						
管理	室内に置く (窓際に置きレースのカーテン越し日光に当てる)								肥料を施す		戸外に置く	
肥料	肥料は施さない										(有機質安全、油粕、骨粉)	

～栽培管理のポイント～

- 置き場所……直射日光は葉焼けの原因、半日陰で弱光に当てる。
春～秋戸外に出し、夏は風通しの良い涼しい所に。冬、適当な場所がない場合窓際のレースのカーテン越しの日光に。
- 温度……生育適温15～25℃。生育最低温度6～7℃。
花茎を伸ばすには低温処理が必要。10℃以下の低温に50～60日あわせる。
- 肥料……生育期間中は十分に施す。有機物主体の置肥。緩効性の化成肥料を月に1回の割合で施すか、10日ごとに液体肥料を。
- かん水……鉢土の表面が乾いたら、過湿に注意しながら十分与える。冬は水量を控え目にするか、低温の場合は与えない。
- 病虫害……腐敗病(軟腐病)：マイシンS250～500倍液、アグレプト水和剤の500～1000倍液散布。
白絹病：トップジンM水和剤かロブラール水和剤1000倍液などで株を洗い2～3日陰干しをしてから鉢に。根腐れ病：白絹病と同様の処置をして植え替える。

根腐れした株の植え替えは



12・1月の鉢物室内管理

厳寒期になりました。この頃の家は昼夜暖かく広い窓もあり、冬の室内で育て楽しめる植物の種類も豊富になってきました。とはいっても、これら植物の好む環境は一樣ではありません。温度が高い方がよく育つもの、低い温度で一時休みをとるもの、水を欲しがらるもの、水も肥料も不要なもの等様々です。長く又来年も楽しませてくれるよう出来るかぎりその植物に合った環境づくりをしてあげましょう。

ポインセチア

高い温度と日光を好みますので昼は暖かく明るい窓辺に置きます。夜も温度15℃以上に保たないと落葉します。長く楽しむために時々薄めの液肥を施します。

オンシツコナジラミの好物です、葉がベタベタと光り出す前に見つけ根気よく退治します。

花後、または落葉してしまった株は涼しい場所で休ませ、暖かくなってから剪定、植替えし、育て直します。

シクラメン

明るい場所が好きです、昼の温度は20℃前後、夜は10℃程度、暖かすぎる部屋では長持ちしません。水やりは土の表面が乾いたらすぐに球根頂部にかからないように、液肥も10日に1回位必要。花がら、黄変した葉等は茎の根元をひねりながら抜き取り次の花の伸びを進めます。時々葉茎をかき分け株元に光を入れると元気を回復します。

シャコバサボテン

開花中は低温気味で長持ちします。水は控えめ、肥料は不要。花後は涼しい部屋に置き春まで生長を抑えておきます。この時株の高さを揃えるよう葉先を節で摘み、摘み取った葉先を挿し木し新しい株を殖やしても良い。春に古い株なら植替します。

アザレア

10℃以下の寒いところで休んだ後、暖かい部屋に持ち込むと蕾がふくらみ開花します。開花中は低温気味(20℃以下)で花が長持ち。水は少量、肥料不要。花後は花がらを摘み、春まで寒い部屋に移動休ませます。

エラチオールペコニア

日当たりと高温を好みます。夜間温度は15℃以上に保ちます。光線不足では株が徒長し、良い花を着けません。昼夜の温度差が大きいと蕾を落とします。花を着けなくなったら切り戻し植え替え、再生させます。

お正月に咲いたウメ

花が咲いたら涼しい場所に、花が終わったら新芽を伸ばさないように寒い部屋に春まで置きます。水少量、肥料不要。

ブーゲンビレア、ハイビスカス

熱帯性の花木類で強い光線と高温を要求します。冬の室内は温度は確保出来ても日照量は不足勝で良い環境とはいえませんが、いま咲いている花を楽しんだ後は水やりを控え低温状態にして株を休ませ、春になってから剪定し植替えるのが無難です。

観葉植物

強い光と高温が好きで種類が多く、冬の室内では水を控え低温気味にし生長を抑えるような管理をしますと、光の少ない部屋の隅でも長く緑が楽しめます。葉の汚れと乾燥を嫌いますので、時々葉に霧吹きします。

葉の表面がべたついたようになるカイガラムシの被害も多くなります、ブラシ等で拭き取るか、殺虫剤で駆除します。

《庭木の選定にあたって》・・・庭木の特性を知ることから・・・

1. 陽樹と陰樹

陽 樹 (日当たりのよい場所を好む庭木)	陰 樹 (日陰でも育つ庭木)
アカマツ、クロマツ、ゴヨウマツ、ミヤマビャクシン (シンバク)、カラマツ、イチョウ、ナナカマド、シラカバ、モミジバスズカケノキ (プラタナス)、サクラ、ニセアカシア (ハリエンジュ)、キササゲ、ケヤキ、モクレン、ムクゲ、レンギョウ、ボタン、ボケ、バラ、エニシダ、ハマナス、その他果樹類等。	アカエゾマツ、トドマツ、イチイ、キャラボク、ニオイヒバ、カンボク、エゾニワトコ、アジサイ、シャクナゲ、ツリバナ、イヌツゲ、ヤナギ、ツルマサキ、エゾスグリ等。

2. 耐乾性と耐湿性

乾燥地を好むか、乾燥地に強い庭木	湿地に耐える庭木
アカマツ、クロマツ、カラマツ、ミヤマビャクシン (シンバク)、イチョウ、ニセアカシア、カシワ、メギ、ハマナス、ベニシタンボケ、エニシダ、ツツジ類、ギンロバイ、キンロバイ。	アカエゾマツ、イチイ、ホオノキ、ニオイヒバ、シラカバ、カツラ、アジサイ、ヤマブキ、シャクナゲ、ウツギ、ツルバラ、ムクゲ、ヤナギ類等。

3. 肥沃地を好む樹種、瘦地に耐える樹種

肥沃地を好む樹種	瘦地に耐える樹種
カエデ類、サクラ類、イチイ、カツラ、ニレ類、オオデマリ、モクレン、ハナカイドウ、ボタン、コデマリ、ハマナス、ツゲ類、バラ、ウメ、ナシ、ブドウ等の果樹類。	アカマツ、クロマツ、カラマツ、アカエゾマツトウヒ、ミヤマビャクシン (シンバク)、シラカバ、ナナカマド、ニセアカシア (ハリエンジュ)、イヌエンジュ、ハギ、ヤナギ類等。

4. 風に強い庭木、弱い庭木

風に強い庭木	風に弱い庭木
アカマツ、クロマツ、カラマツ、ミヤマビャクシン (シンバク)、ハイマツ、モンタナマツ、イチョウ、シラカバ、カシワ、キササゲ、カンボク、ハマナス等	トウヒ、ニオイヒバ、ニセアカシア (ハリエンジュ)、カツラ、モクレン、シダレヤナギ、サクラ、エニシダ、ウメ、モモ、ボタン、ムクゲ等

5. 剪定に強い庭木、弱い庭木

剪定に強い庭木	剪定に弱い庭木
アカエゾマツ、イチイ、カラマツ、ニセアカシア (ハリエンジュ)、モミジバスズカケノキ (プラタナス)、カツラ、ムラサキハシドイ (ライラック)、ネグンドカエデ、オオデマリ、ハギ、ニシキギ、アジサイ、バラ、ボケ、ツツジ類、イボタ、ウメ、アンズ、ナシ等	サクラ類、マツ類、シャクナゲ、シラカバ、ノムラカエデ、ガクアジサイ等

6. 生け垣に適する庭木

針 葉 樹	広 葉 樹	花 木 類	蔓 物
イチイ、カラマツ、ヨーロッパトウヒ (ドイツトウヒ)、ストロブマツ、ニオイヒバ等	ニシキギ、アメリカメギ、イボタ、カツラ、アキグミ、エゾノコリンゴ、トサミズキ、ウツギ、カンボク、ネグンドカエデ。	ドウダンツツジ、レンゲツツジ、レンギョウ、ボケ、ムクゲ、ユキヤナギ等。	テッセン、フジ、ブドウ等